

「千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021」 の進捗状況

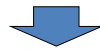
- ・グリーンストック作戦
- ・建築物環境計画書制度・低炭素建築物助成
- ・再生可能エネルギー100%電力切替促進事業
- ・地方連携による再生可能エネルギーの供給
- ・環境まつりの実施報告
- ・地方との交流事業
- ・地方との連携による森林整備事業

グリーンストック作戦(既存建物の省エネ化)

制度概要

既築建築物(ストック)の省エネルギー(グリーン)化を推進するための事業

省エネルギー診断の受診
(周知やPRを実施)



設備改修・運用改善による
省エネ対策の提案



設備改修による省エネ対策の実施 → 区の助成制度の活用
運用改善による省エネ対策の実施



既存建築物の省エネ化を実現



千代田区内の脱炭素化



グリーンストック作戦(既存建物の省エネ化)

省エネルギー改修等助成制度

◆対象

事業所、住宅、マンション共用部

※事業所は省エネ診断の受診が必要

◆助成内容

・LED照明 対象経費の**50%(拡充)**

・上記以外(※) 対象経費の20%

(※)空調、窓断熱対策、太陽光発電システム、蓄電システムなど

実績

◆千代田区省エネルギー改修等助成制度(令和4年度)

助成件数 154件 助成額 5,509万2千円

CO₂削減量 601.86t

◆省エネルギー診断(令和4年度)

診断件数 62件



制度概要

◆建築物環境計画書制度

延床面積300㎡以上の建築物の新築及び増改築に際し、計画の初期段階から事前協議を行うことで、事業者が建築物のCO₂排出量削減に積極的に取り組み、環境に配慮した建築物の計画を推進している。

<目標値> 非住宅:省エネ基準より **35%削減**
住宅:省エネ基準より **20%削減**



◆低炭素建築物助成

建築物環境計画書及びBELS評価書に基づき算出した年間のCO₂排出削減率が、目標値以上削減されている計画について、CO₂削減量に応じて助成金を交付している。

<助成額> CO₂削減量1tあたり25万円(上限額1,000万円)
※CO₂削減量40t以上で1,000万円助成

実績

◆建築物環境計画書制度(令和4年度)

届出件数：56件 CO₂削減量：5,133t

(内訳)

非住宅建築物	： 38件	35%以上削減	： 14件
住宅建築物	： 10件	20%以上～35%未満削減	： 20件
複合建築物	： 8件	20%未満削減	： 30件

※複合建築物は、非住宅及び住宅でカウント

◆低炭素建築物助成(令和4年度)

助成件数：2件 助成額：2,000万円



再生可能エネルギー100%電力切替促進事業

制度概要

◆家庭

契約電力を再エネ100%電力へ切替えた家庭に対して、現金2万円と認証ステッカーを交付する。

◆事業者

再エネ100%電力を利用している事業者に対して、認証書と認証ステッカーを交付するとともに、区ホームページに公表する。



実績(R4)

◆家庭:14件

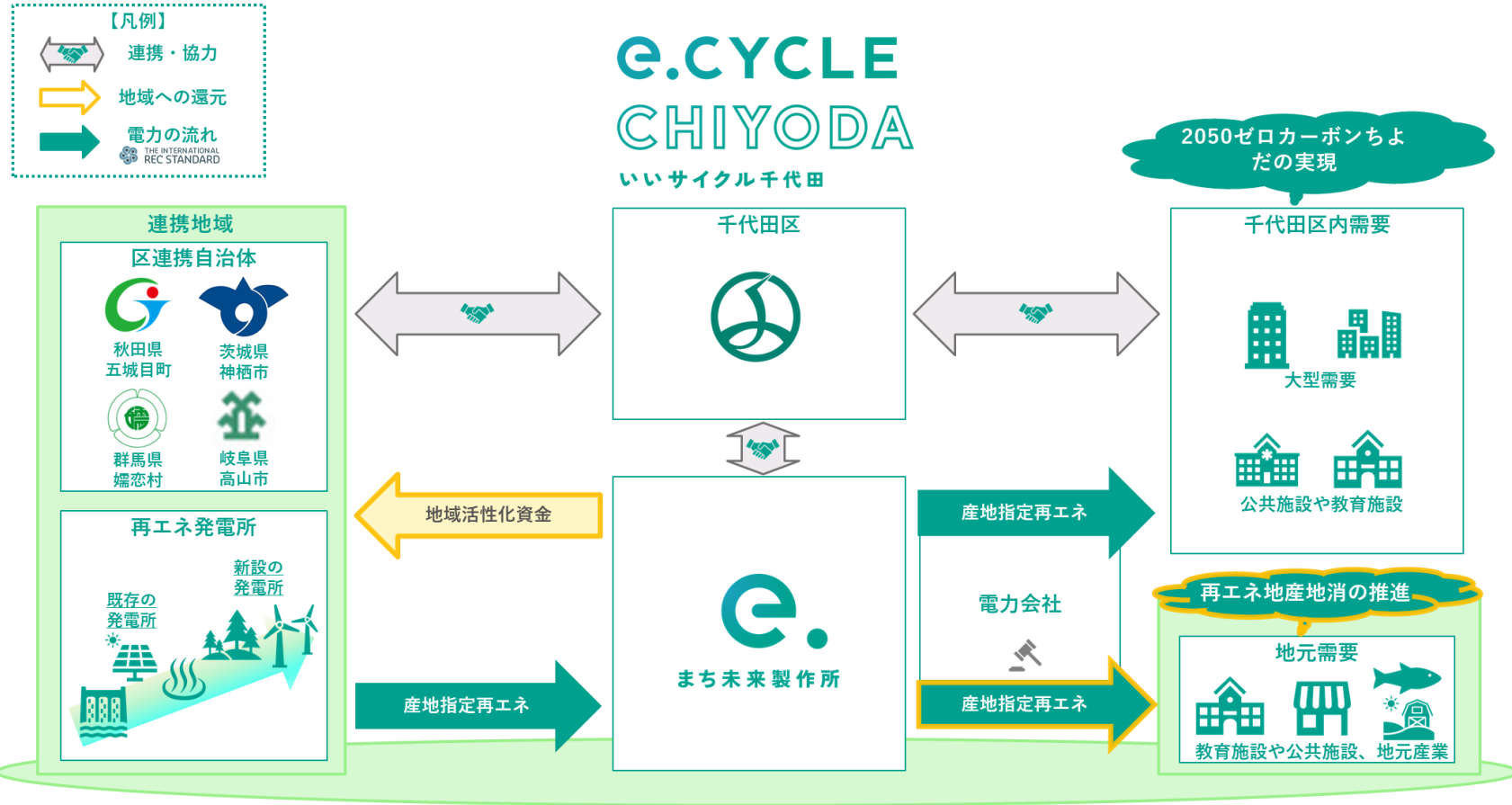
※令和4年度は、5,000円のクオカードまたは図書カード、認証ステッカーを交付

◆事業者:1件



地方連携による再生可能エネルギーの供給

区内再エネ普及促進の一環として、脱炭素化へ向けた連携協定を締結する高山市、孺恋村、五城目町及び神栖市の4市町村の自治体地域内で発電された再生可能エネルギーを区内事業者へ供給するとともに、自治体地域へ電力地産地消の推進及び電力売益の一部を地域活性化資金として還元する仕組みを構築



◆再エネ電力確保量(令和4年度)

自治体名	発電事業者	発電設備種別	年間発電量(想定)	供給棟数(想定)※
孺恋村	2事業者	太陽光	5,901,437kWh	約23棟
神栖市	6事業者	太陽光、風力、バイオマス	190,541,213kWh	約744棟

※区内の平均的な事業所ビル(2,000㎡)1棟分の年間電気使用量256MWhで試算

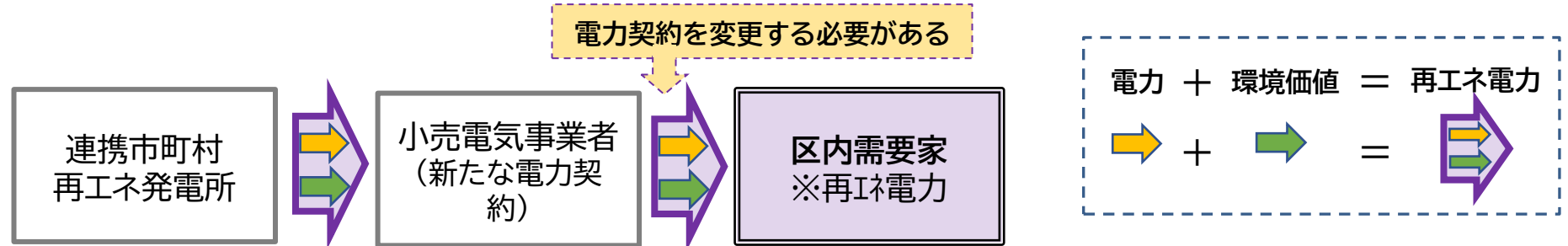
地方連携による再生可能エネルギーの供給

◆再エネ電力供給手法

〔現状〕再エネ電力切替方式

区内事業者への再エネ電力供給 0件(令和4年度)

〔現状の方式〕 電力 + 非化石証書(環境価値) ➡ 電力契約を変更する必要がある

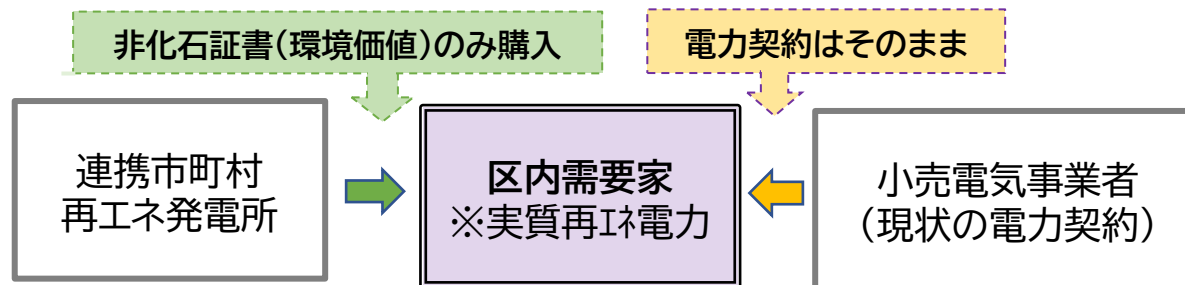


〔課題〕

- ・電力市場における再エネ電力の料金が高く、電力契約の切換えができなかった
- ・電力契約を変更する必要がある

〔追加〕非化石証書のみ購入方式(令和5年7月下旬より:予定)

〔新たな方式〕 非化石証書(環境価値)のみ ➡ 電力契約の変更が不要



〔メリット〕

- ・非化石証書(環境価値)のみの購入となるため、費用が安い
- ・現在の電力契約を変更することなく、実質的に再エネ電力の使用が可能

環境まつりの実施報告

6月の「環境月間」にあわせて、地球温暖化やヒートアイランド、ごみの減量など環境の大切さをより多くの方に知っていただき、地球にやさしい生活を送るきっかけづくりのため、参加体験型イベント「ちよだ環境まつり」を開催した。

【日時】 令和5年6月17日（土）10時～16時

【場所】 区役所1階区民ホール、4階会議室

【来場者】 597名

【内容】

●環境ワークショップ

- ・充電式ミニカーを作って走らせよう！ <電気理科クラブ>
- ・本物のアンモナイト化石からレプリカを作ろう！ <(一財)進化生物学研究所>

●あおぞらふれあい相談回収&フードドライブ <千代田清掃事務所>

●SDGsに繋がるね。カトー折り <(一社)千代田エコシステム推進協議会>

●多摩産材を使ったバターナイフ、スプーン作り <(株)Tree to Green>

●PETキャップからコマを作ろう！アップサイクルワークショップコーナー <NAMIMATI（上智大学支部）>

●自然エネルギーの「ソーラーちょうちん」を作ろう！ <NPO法人そらべあ基金>

●飛騨高山・ちよだの森を体験 <高山市>

- ・おししカスタネットづくり <NPO法人わらべうたの会>
- ・間伐材エココースターづくり <飛騨高山森林組合>

●清掃工場とごみ処理の流れを知ろう！ <東京二十三区清掃一部事務組合>

●紙パックリサイクルについて学ぼう <全国牛乳容器環境協議会>

●身近な環境を測ってみよう <東京歯科大学（衛生学講座）>

●東京62市区町村の環境の取組紹介 <オール東京62「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」>

ほか



地方との交流事業① 「ちよだ・つま恋の森づくり」 植樹ツアー

千代田区と姉妹連携及び「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定書」を結んでいる群馬県嬭恋村でハイキングや生きもの観察、植樹体験を行うツアーを実施した。

【日 時】 令和5年5月27日（土）～28日（日） 1泊2日

【参加者】 区内在住者24名（大人13名、子ども11名）

【内 容】

● 1日目

- ・ 宿泊先（嬭恋の宿あいさい）周辺の森やバラギ湖において地元ガイドとともに自然散策
- ・ 村役場の方から熊への対策などについてレクチャー

● 2日目

- ・ 棧敷山において植樹祭を開催（嬭恋村長、千代田区長、森林組合等からあいさつ）
- ・ 森林組合による伐木実演、植樹の説明を受け、嬭恋村の方とともにミズナラの苗を植樹



自然散策の様子



植樹祭参加者の集合写真



植樹の様子

地方との交流事業② 高山市森林体験等ツアー

千代田区と「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定書」を結んでいる岐阜県高山市で森林体験等を行うツアーを実施する。

【日 時】令和5年7月22日（土）～24日（月）2泊3日

【参加者】区内在住者35名（大人22名、子ども13名）

【実施方法】要件を満たすツアーを実施する旅行者に対して区から補助金を交付

＊補助額：参加者一人あたり25,000円、上限100万円

＊実施業者：東武トップツアーズ株式会社

【内 容】

●1日目

- ・ガイドとともに五色ヶ原の森を散策
- ・民宿に宿泊

●2日目

- ・農業体験を実施（野菜の収穫）
- ・食文化体験を実施（朴葉寿司・五平餅づくり）
- ・森林体験を実施（木工クラフトづくり）
- ・「ちよだ・たかやまの森」を見学
（森林組合による森林整備に関する解説、ネイチャーゲームの実施など）

●3日目

- ・朝市や市街地を散策



五色ヶ原の森（久手御越滝）



ちよだ・たかやまの森

地方との連携による森林整備事業

大量のCO2を排出する都市と、森林整備によってCO2の吸収が見込める地方都市が協同で事業を行うことにより、CO2排出実質ゼロの実現を目指す。

①連携自治体との森林整備（令和4年度実績）

●岐阜県高山市（平成24年度から）

【整備面積】17.46ha

【作業内容】間伐及び枝打ち

【これまでのCO2吸収量】4,071.4t-CO2

●群馬県嬭恋村（平成28年度から）

【整備面積】0.31ha

【作業内容】造林・下刈り

【これまでのCO2吸収量】152.7t-CO2

●秋田県五城目町（令和4年度から）

【整備面積】4.95ha

【作業内容】植栽

【これまでのCO2吸収量】1.7t-CO2

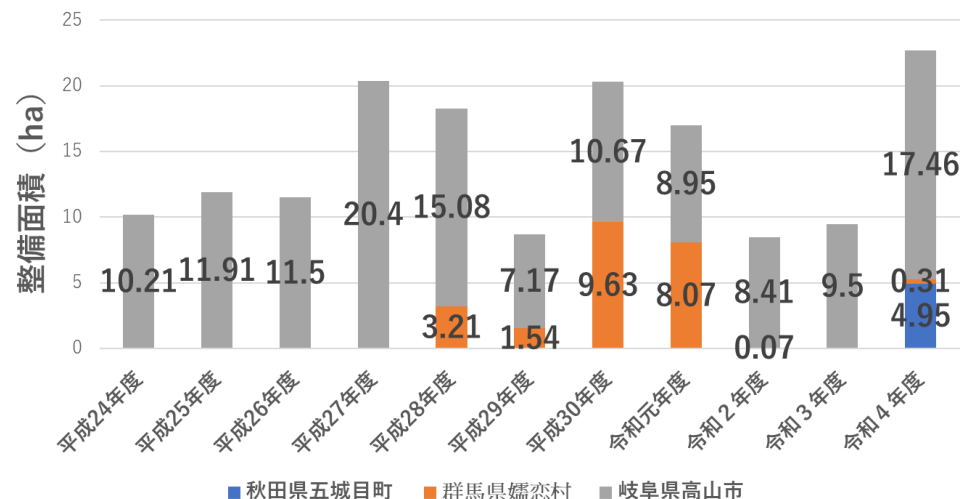
②「多摩の森」活性化プロジェクト

- ・特別区6区、多摩6市町村及び東京都と連携協定を締結
- ・多摩地区の森林整備への協力や森林保全推進に向け取り組む

●令和5年度（予定）

あきる野市と奥多摩町の針葉樹人工林（合計22.35ha）における森林整備

⇒5年間で“660t-CO2”カーボン・オフセット見込み



森林整備面積の推移